

週刊 **タバコの正体**

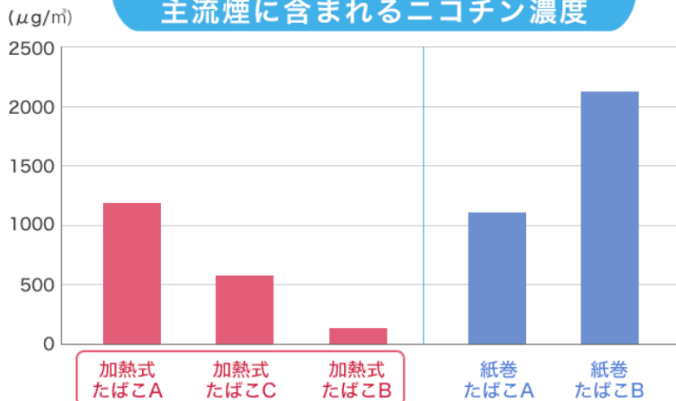


@DIME サイトから

煙の出ない製品はリスクがないわけではありません。喫煙者にとって最善の選択肢は禁煙することです。

出典元：フィリップ モリス ジャパン合同会社

紙巻たばこ、加熱式たばこ※1の主流煙に含まれるニコチン濃度

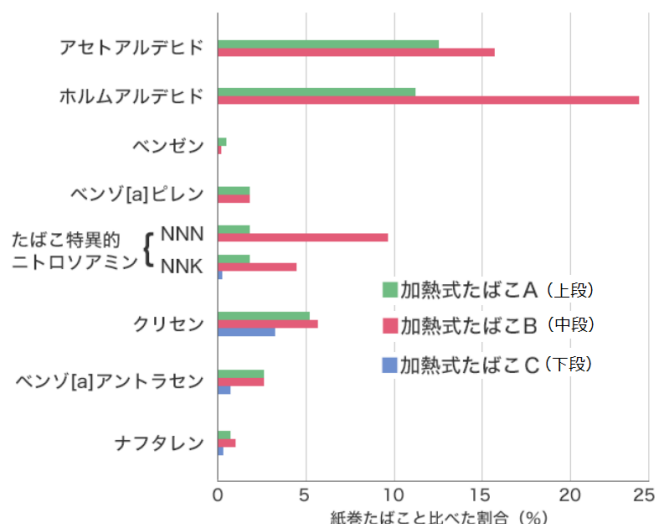


※1：12回吸引（紙巻たばこで概ね1本に相当する吸引回数）

※2・※3：試験研究用の紙巻たばこ参照品（※2：1R5F ※3：3R4F）

厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究「非燃焼加熱式たばこにおける成分分析の手法の開発と国内外における使用実態や規制に関する研究」をもとに作成

加熱式たばこ主流煙中の発がん性物質の一例  
(紙巻たばこの主流煙に含まれる各成分量を100%としたときの割合)



厚生労働科学研究費補助金厚生労働科学特別研究「非燃焼加熱式たばこにおける成分分析の手法の開発と国内外における使用実態や規制に関する研究」をもとに作成

Club Sunstar サイトから

タバコと言えば、ライターで火をつけて吸うものですが、数年前に燃やさずに吸える新型タバコが登場して以来、利用者は増加しました。新型タバコにはたばこの葉を使用する”加熱式タバコ”と使用しない”電子タバコ”があります。

日本では薬事法で溶液にニコチンを入れる事が禁止されているので電子タバコにはニコチンが含まれていません。だから世間の喫煙者が使用しているのは、加熱式タバコがほとんどです。

加熱式タバコは、煙がほとんど出ないという燃やさないの有害成分が少ないとされています。確かに左のグラフに示すとおり紙巻タバコより少なくなっています。しかし、だからと言って加熱式タバコは無害であるとは言えません。少ないとは言え紙巻と同様の有害成分が確実に含まれているのですからね。

タバコをやめられない人にとっては「せめて有害成分が少ないものを」と思うかもしれませんが、加熱式もタバコに変わりありません。吸っていない人は吸い始めない事が一番です。

産業デザイン科 奥田 恭久